

### Ⅲ 健康増進課関係業務

# 1 健康づくり事業関係

## (1) 「健康上十三21（第2次）」の推進について

上十三地域においては、「健康日本21」「健康あおもり21」を受け、早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、「栄養・食生活」「こころの健康づくり」「たばこ」「アルコール」に重点をおいた「健康上十三21」を策定し、平成14年度より推進してきた。計画最終年の平成24年度に行った最終評価では、全体の51%が目標達成、改善傾向となっている中、こころの健康づくりに課題が残っている。

「健康上十三21（第2次）」では、第1次計画の最終評価と当地域の課題を踏まえ、「自殺予防」の推進と「喫煙防止」「肥満予防」を柱とした生活習慣病予防対策を推進することとしている。

## (2) 「市町村健康づくり計画」の推進について

各市町村健康づくり推進協議会や研修会、会議等を通して市町村計画への支援を行った。

## (3) 各市町村健康づくり推進協議会等への参加

全市町村の健康づくり推進協議会等の委員として保健所長が委嘱され、担当職員等と共に各市町村の推進協議会等へ出席し、市町村の健康課題及び対策について把握し、保健活動の推進に向け支援を行った。

市町村名	期 日	会 議 名	出 席 者
十和田市	平成28年9月29日	こころの健康づくり部会	精神保健担当者
	平成28年10月3日	母子保健部会	母子保健担当者
	平成28年10月12日	生活習慣病予防部会	健康づくり担当者
	平成28年11月16日	生涯健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
三 沢 市	平成28年10月28日	健康推進対策協議会	健康増進課長、地区担当者
	平成28年11月4日	歯の健康づくり推進委員会	歯科保健担当者
野辺地町	平成28年5月30日	健康づくり推進協議会	保健総室長、地区担当者
	平成28年11月29日	健康づくり推進協議会	業務都合のため、欠席
七 戸 町	平成29年1月26日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
六 戸 町	平成28年6月30日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
	平成29年3月21日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
横 浜 町	平成28年8月1日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成29年2月28日	健康づくり推進協議会	保健所長
東 北 町	平成28年10月3日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成29年1月13日	こころの健康づくり対策協議会	保健所長、地区担当者、精神保健担当者
六ヶ所村	平成29年2月23日	健康づくり推進協議会	(業務都合のため欠席)

#### (4) 喫煙対策推進事業

喫煙は、肺がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患など多くの疾患の危険因子であり、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙対策は生活習慣病を防止する上で重要な課題である。

そこで、「健康上十三２１（第２次）」で重点的取り組みに位置付けている喫煙防止について、受動喫煙防止対策を推進するための研修会、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発及び空気クリーン施設等制度の登録を推進した。

##### ア 研修会

保健協力員や事業者を対象とした研修会において普及啓発、情報提供を行った。

日時	場所	テーマ・内容	講師名	対象者 参加人数
4月26日	三沢市保健協力員総会、研修会	・COPD、受動喫煙による健康被害 ・「空気クリーン施設」・「空気クリーン車」推進事業	加賀谷健康増進課長	三沢市保健協力員73名
5月17日	東北町保健協力員委嘱状交付式	・COPD、受動喫煙による健康被害 ・「空気クリーン施設」・「空気クリーン車」推進事業	加賀谷健康増進課長	参加者123名
11月11日	上北労働基準協会	・喫煙による健康被害(癌と動脈硬化性疾患について) ・禁煙効果 ・受動喫煙による健康被害	傳法谷所長	衛生管理研修会参加者30名

##### イ 普及啓発

各会議、研修会等の機会に受動喫煙防止の普及啓発を実施した。

日時	場所	対象者、人数
5月～6月	管内市町村の健康づくり推進協議会	各健康づくり推進協議会出席者
4月20日	六ヶ所村保健協力員協議会	六ヶ所村保健協力員32名
5月13日	ともしび会総会並びに研修会	ともしび会会員25名
1月23日	食品衛生協会 優良店表彰式	対象者102名へ配布(欠席者には送付で対応)
2月21日	平成28年度 七戸町学校保健会役員会	七戸町学校保健会役員、事務局17名
2月23日	食品衛生講習会	出席者65名(食品衛生の関係者)

ウ 世界禁煙デー・禁煙週間の取組み(5月31日～6月5日)

場所	内容	対象者
上十三保健所	・受動喫煙による健康被害等の情報を所内に掲示	来所者
上十三保健所、十和田合同庁舎、七戸庁舎	・世界禁煙デーに関するポスター掲示	各庁舎職員 来庁者
上十三保健所、十和田合同庁舎、七戸庁舎	・COPD、受動喫煙に関するのリーフレット配信	上北地域県民局職員
十和田合同庁舎	・世界禁煙デー、禁煙週間の周知及び受動喫煙防止に関する管内アナウンス(1日2回)	十和田合同庁舎職員 来庁者
親と子のよい歯のコンクール会場	・世界禁煙デーポスター掲示 ・COPD、受動喫煙に関するのリーフレット配信	参加者及び来場者 120名

エ 『空気クリーン施設(受動喫煙防止対策実施施設)』・『空気クリーン車(受動喫煙防止対策実施車両)』推進事業

平成15年5月1日から施行された健康増進法において、受動喫煙による健康への悪影響を排除するために、多数の者が利用する施設管理者は、受動喫煙防止する措置を講ずるよう努めなければならない旨が規定された。

このことから、施設管理者及び飲食店経営者等に対し、禁煙の措置を講ずるよう支援し、住民の良好な健康づくりのための環境整備に資することを目的に「空気クリーン施設」の登録を促進した。

空気クリーン施設 施設種別・市町村別登録状況 (平成29年3月末)

*施設種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
十和田市	12	8	41	40	7	0	7	0	14	0	2	7	138
三沢市	7	3	10	21	7	3	1	0	3	0	3	10	68
野辺地町	2	5	12	15	3	5	2	0	2	0	1	13	60
七戸町	8	7	15	13	3	7	10	0	2	0	9	0	74
六戸町	3	2	13	6	1	4	0	0	2	0	2	0	33
横浜町	2	5	5	4	0	1	0	0	3	0	1	0	21
東北町	5	0	14	4	3	0	2	0	1	0	2	1	32
六ヶ所村	1	0	15	2	1	0	4	0	1	0	0	5	29
合計	40	30	125	105	25	20	26	0	28	0	20	36	455

\*施設種別：1官公庁 2文化施設 3教育・保育施設 4医療施設 5福祉・介護施設 6体育施設 7事業所  
8公共交通機関 9飲食店 10宿泊施設 11その他施設 12タクシー車両

\*喫煙対策推進事業実施要綱が平成20年度に改正になり「空気クリーン施設」の条件は、禁煙のみとなった(分煙は認めず)。

\*青森県のタクシーは、平成22年7月1日から全面禁煙となった。

## (5) 保健協力員の育成

保健協力員が活動に関する学習と情報交換を行い、活動を活性化するとともに、健康づくりの推進に役立てることを目的に研修会、役員会を実施した。

### ア 上十三保健所管内保健協力員連絡会役員会

回数	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	平成 28 年 6 月 16 日 (木)	上十三保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度事業実施状況及び収支決算報告について</li> <li>平成 28 年度事業計画について (事業計画及び予算)</li> <li>平成 28 年度合同研修会について</li> <li>平成 28 年度各市町村保健協力員活動計画について</li> </ul>	保健協力員 8 名 市町村職員 9 名 保健所職員 3 名
2	平成 28 年 7 月 22 日 (金)	上十三保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年度合同研修会の進め方及び役割分担について</li> <li>県協議会総会・役員会報告について</li> <li>各市町村保健協力員活動の情報交換について</li> </ul>	保健協力員 8 名 市町村職員 8 名 保健所職員 2 名
3	平成 29 年 3 月 1 日 (水)	上十三保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年度事業実施状況について (事業実施状況、予算の執行状況)</li> <li>平成 29 年度事業計画について</li> </ul>	保健協力員 8 名 市町村職員 9 名 保健所職員 2 名

### イ 上十三保健所管内保健協力員連絡会総会及び研修会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 28 年 9 月 2 日 (金)	七戸中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度事業報告及び平成 28 年度事業計画</li> <li>講演 テーマ:「保健協力員が元気に活動するために」 講師: 社会福祉法人すずかけの里 地域包括支援センター 看護局長 若木 茂子 氏</li> <li>グループワーク演習 テーマ:「健診の受診率アップを目指して」</li> </ul>	管内保健協力員 133 名 市町村事務局等 15 名 保健所事務局等 5 名 計 153 名

ウ 管内市町村保健協力員数

(平成28年4月1日現在)

市町村名	保健協力員数	市町村名	保健協力員数
十和田市	213	六戸町	79
三沢市	108	横浜町	63
野辺地町	94	東北町	175
七戸町	179	六ヶ所村	59
		計	970名

## 2 母子保健事業関係

### (1) 療育相談（肢体不自由児等）

発育・発達に心配のある児童及び未熟児等を対象に整形外科専門医による相談を保健所内で年12回実施した。 (平成28年度)

市町村名	相談人員	再 掲		
		要治療	治療不要	経過観察
十和田市	39 (11)	4 (1)	2 (1)	33 (9)
三沢市	21 (9)	4 (2)	0 (0)	17 (7)
野辺地町	7 (5)	3 (2)	1 (0)	3 (3)
七戸町	7 (2)	1 (2)	0 (0)	6 (2)
六戸町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
横浜町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
東北町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
六ヶ所村	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
管 外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	74 (27)	12 (5)	3 (1)	59 (21)

( ) は新規利用者再掲

### (2) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童について、小児慢性特定疾患医療受診券交付時における面接や訪問、医療意見書により依頼があった児の状況把握等を行い、支援強化を図った。

(平成28年度)

事業内容	専門医による相談		保健師による相談指導		
	小児慢性 特定疾患	未 熟 児	家庭訪問	面接相談	電話相談
相談件数	0	0	1	39	0

### (3) 小児慢性特定疾患治療研究事業（小児慢性特定疾患医療費助成事業）

長期にわたり療養を必要とする児童の健全育成を目的として対象疾病の治療にかかった費用の一部を公費によって助成するとともに、治療方法等の情報を今後の治療研究に活かすことを目的とした制度である。平成27年1月1日から制度改正となり、対象疾病は11疾患群から14疾患群に追加・整理された。

(平成28年度)

	区 分	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	計
01	悪性新生物	7	6		3	1	1	1	1	20
02	慢性腎疾患	5	6	1	1	1	1	2	1	18
03	慢性呼吸器疾患	2	2							4
04	慢性心疾患	14	10	4	5	1		5	1	40
05	内分泌疾患	14	10	1	3	5	2	1	2	38
06	膠原病	3	2	1		1		1		8
07	糖尿病	3	4					1	1	9
08	先天性代謝異常		1							1
09	血液疾患	2		1	1	1				5
10	免疫疾患									0
11	神経・筋疾患	2	3	1		1			1	8
12	慢性消化器疾患	3	2	1		1		1		8
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	1			1					2
14	皮膚疾患							1		1
	計	56	46	10	14	12	4	13	7	162

#### (4) 小児慢性特定疾病児童手帳（ひまわり手帳）交付事業

小児慢性特定疾患の対象児童に対し、緊急の連絡先等を記載する手帳（ひまわり手帳）を交付している。

(平成28年度)

疾患名	件数
悪性新生物	5
慢性腎疾患	2
慢性呼吸器疾患	2
慢性心疾患	10
内分泌疾患	9
膠原病	2
糖尿病	1
先天性代謝異常	0
血液疾患	0
免疫疾患	0
神経・筋疾患	1
慢性消化器疾患	4
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	2
皮膚疾患	0
計	38



## (5) 管内市町村妊婦連絡票実施状況

(平成28年度)

市町村名	妊娠届出数 A	妊婦連絡票提出数 B (B/A)	妊婦保健指導報告書発行数 C (C/B)	指導週数別				産後 h (h/C)	指導方法別				妊婦連絡票の提出はないが、 保健指導を実施した数 M (M/A)	受理数 N	要連絡・指導 妊産婦連絡票		
				～ 11週 d (d/C)	12～ 19週 e (e/C)	20～ 27週 f (f/C)	28週 ～ g (g/C)		窓 口 i (h/C)	訪 問 j (i/C)	電 話 k (j/C)	そ の 他 l (k/C)			内 訳	妊 婦 o (m/L)	産 婦 p (n/L)
十和田市	375	372 (99.2)	372 (100.0)	337 (90.6)	26 (7.0)	4 (1.1)	4 (1.1)	1 (0.3)	372 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.8)	34	2 (5.9)	32 (94.1)	
三沢市	347	343 (98.8)	343 (100.0)	316 (92.1)	25 (7.3)	1 (0.3)	1 (0.3)	0 (0.0)	343 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (1.4)	47	8 (17.0)	39 (83.0)	
野辺地町	70	70 (100.0)	70 (100.0)	59 (84.3)	11 (15.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	70 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10	2 (20.0)	8 (80.0)	
七戸町	79	79 (100.0)	79 (100.0)	63 (79.7)	13 (16.5)	2 (2.5)	1 (1.3)	0 (0.0)	79 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	14	3 (21.4)	11 (78.6)	
六戸町	73	71 (97.3)	71 (100.0)	57 (80.3)	11 (15.5)	2 (2.8)	1 (1.4)	0 (0.0)	67 (94.4)	0 (0.0)	4 (5.6)	0 (0.0)	1 (1.4)	4	2 (50.0)	2 (50.0)	
横浜町	18	17 (94.4)	17 (100.0)	15 (88.2)	2 (11.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	0	0 (—)	0 (—)	
東北町	121	121 (100.0)	120 (99.2)	102 (85.0)	15 (12.5)	2 (1.7)	1 (0.8)	0 (0.0)	120 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	17	2 (11.8)	15 (88.2)	
六ヶ所村	85	85 (100.0)	85 (100.0)	73 (85.9)	12 (14.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	85 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6	1 (16.7)	5 (83.3)	
計	1,168	1,158 (99.1)	1,157 (99.9)	1,022 (88.3)	115 (9.9)	11 (1.0)	8 (0.7)	1 (0.1)	1,153 (99.7)	0 (0.0)	4 (0.3)	0 (0.0)	10 (0.9)	132	20 (15.2)	112 (84.8)	

( )は%

(6) 管内市町村未熟児情報共有システム実施状況

(平成28年度)

	低出生体重 児数		未熟児等 出生 連絡 票受 理数	出生時体重					在胎週数			未熟児 等訪問 指導連 絡票発 行数
	未 児 育 療 請 数	熟 養 医 申 数		1000 g 未 満	1000 ～ 1500 g 未 満	1500 ～ 2000 g 未 満	2000 ～ 2500 g 未 満	2500 g 以 上	妊 娠 22～ 34週 未 満	妊 娠 34～ 37週 未 満	妊 娠 37週 以 上	
十和田市	27	10	18	1	3	2	7	5	8	4	6	19
三沢市	32	7	23	2	0	3	8	10	2	11	10	22
野辺地町	4	2	3	2	0	0	0	1	2	1	0	3
七戸町	8	2	2	1	0	1	0	0	2	0	0	2
六戸町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
横浜町	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
東北町	9	4	6	0	1	1	1	3	2	2	2	5
六ヶ所村	9	1	3	2	0	1	0	0	2	1	0	2
合 計	90	28	56	8	4	9	16	19	19	19	18	58

(7) 母子保健ネットワーク会議等 —妊産婦支援体制整備事業—

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点から、地域養育支援体制の整備を推進している。

ア 母子保健ネットワーク会議

保健・医療等関係者等により、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に係る協議等を行った。

期 日	場 所	出席者	内 容
平成29年 2月13日	富士屋グランドホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関：13名</li> <li>・市町村：12名</li> <li>・児童相談所：1名</li> <li>・医療薬務課：1名</li> <li>・保健所：5名</li> </ul> 計32名	(1) 情報提供 「管内における妊産婦・未熟児等情報共有システム実施状況について」 (2) 講話 「周産期医療に関連した最新情報」 (3) 意見交換 「妊娠、出産をとりまく切れ目ない支援に向けて」

イ 平成28年度市町村開催会議への支援

会議名	期 日	テーマ	出席者
十和田市生涯健康づくり推進協議会 母子保健部会	平成28年10月3日	子どもの肥満予防・運動習慣 定着に向けた取り組みについて 意見交換	母子担当

**(8) 産後うつ病の予防対策推進事業 —妊産婦支援体制整備事業—**

乳児を抱える母親のメンタルヘルスに注意を向け、母親のメンタル面のサポート体制の推進を図り、母子保健サービスの中に「虐待予防」の視点を盛り込み、市町村母子保健関係者等の虐待予防に関する資質の向上を図った。

ア 医療機関へのエジンバラ産後うつ病スクリーニングの活用と普及

期 日	場 所	参加者数	内 容
平成29年 2月13日	富士屋グランドホール (母子保健ネットワーク 会議に於いて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関：13名</li> <li>・市町村：12名</li> <li>・児童相談所：1名</li> <li>・医療薬務課：1名</li> <li>・保健所：5名</li> </ul> 計32名	管内医療機関でのEPDS普及状況、市町村でのEPDSカンファレンスの実施状況等意見交換した。

イ EPDS等(虐待例)妊産婦のカンファレンス

※市町村でカンファレンスを実施するなど対応しており、保健所への相談件数はなかった。

**(9) 乳幼児の虐待予防に関すること**

市町村からの求めにより出席し、情報提供及び助言を行った。

ア 市町村要保護児童対策協議会への出席

市町村名	代表者会議	出席者
十和田市	平成28年6月23日	健康増進課長
三 沢 市	平成28年5月25日	地区担当者
野辺地町	平成28年7月4日	健康増進課長
七 戸 町	平成28年6月21日	健康増進課長
六 戸 町	平成28年5月25日	健康増進課長
横 浜 町	平成28年6月27日	健康増進課長
東 北 町	平成28年10月31日	健康増進課長
六ヶ所村	—	—

## (10) 女性健康支援事業

ア 女性の健康相談

(ア) 開催日：月1回（毎月第3木曜日） 受付時間：10:00～10:30

(イ) 場 所：上十三保健所 第1相談室

(ウ) 担当者：保健師

相談件数	来所相談 実人員 5名 (延33件) 〈内訳〉 定 期 1名 (延1件) 随 時 0名 (延0件) 電話相談 実人員 4名 (延32件)
相談内容	思春期女子の健康相談 0件 妊娠、避妊に関する相談 11件 不妊に関する相談 11件 婦人科疾患、更年期障害に関する相談 1件 メンタルケア 6件 その他、性感染症を含め女性の心身の健康に関する一般的な相談 4件

イ 特定不妊治療助成事業

(ア) 特定不妊治療費助成事業申請者 81名 (延139件)

(イ) 不妊専門相談センター利用者 2名

### 3 歯科保健事業関係

#### (1) 親と子のよい歯のコンクール実施状況

一般社団法人青森県歯科医師会との共催により健康な歯をもつ母と子を表彰し、歯科保健に対する幼児や父母及び地域社会の関心を高め、本県の歯科保健の推進を図ることを目的に実施した。

期 日	平成 28 年 6 月 4 日（土）13：00～15：00
場 所	十和田市イオンスーパーセンター十和田店
対 象	86 組 参加者：21 組
講 評	上十三歯科医師会長 黒田 雅仁氏

審査の結果：最優秀賞 東北町の親子1組

優秀賞 三沢市の親子2組

## 4 栄養改善指導事業関係

### (1) 給食施設栄養管理指導事業

喫食者の健康増進を図ることを目的に給食施設を巡回し、施設における栄養管理の把握及び改善指導等を実施した。また、給食施設の調理従事者のスキルアップを図るため、管理栄養士、栄養士、調理師等を対象に研修会を開催した。

#### ア 巡回指導

	特定給食施設		特定多数人に対して継続して食事を供給する施設				計		総計
			1回あたり50食以上提供する施設		1回あたり50食未満提供する施設				
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
巡回施設数	13	1	27	11	0	2	40	14	54
対象給食施設数	41	9	58	22			99	31	130

#### イ 研修会

期 日	場 所	対 象	参加者数	内 容
平成28年 6月21日	十和田市民文化センター	給食施設の 栄養士、調理師等	227名	1 食中毒予防について 上十三保健所 生活衛生課 主幹 田辺 美弥子 2 施設の衛生管理について 上十三保健所 生活衛生課 技師 進藤 真由美 3 給食施設の栄養管理について ～巡回指導実施状況等から～ ・巡回指導実施状況及び栄養管理報告書から管内給食施設の栄養管理状況について ・健康上十三21（第2次）計画の推進について 上十三保健所 健康増進課 技師 盛 美咲

### (2) 栄養成分表示、虚偽誇大表示に関する指導

#### ア 栄養成分及び健康の保持増進に係る表示指導

食品表示法第4条、第5条及び健康増進法第31条第1項に基づき、栄養成分及び健康の保持増進に係る食品表示について相談及び指導を実施した。

栄養表示相談：35件、指導：5件

イ 栄養成分表示に係る講習等

栄養成分表示の義務化に向けた研修会において、講習を実施した。

期日	会場	参加者数	主催
平成 29 年 1 月 30 日	上十三広域農業振興会	20	JA 全農あおもりやさい部
平成 29 年 2 月 7 日	十和田市総合体育センター	61	産直とわだ

(3) 食生活改善推進員の育成

管内食生活改善推進委員会の活動を支援し、組織の育成を図った。

ア 役員会・会長会議等

会議名	場 所	回数
三役員会	上十三保健所	1 回
監査会	上十三保健所	1 回
管内市町村会長会議	上十三保健所	3 回

イ 総会・研修会

内 容	参加者数
日時：平成 28 年 5 月 10 日（火）10:30～14:00 場所：十和田市東公民館 <b>【総会】</b> ・平成 27 年度事業報告及び決算報告 ・平成 28 年度事業計画及び予算案 <b>【研修会】</b> 講演 「上十三保健所管内の取組と食生活改善推進員に期待すること」 講師 上十三保健所 健康増進課 課長 加賀谷 久子 上十三保健所 健康増進課 技師 盛 美咲	会 員：41 名 市町村：11 名 保健所：3 名

ウ 管内市町村食生活改善推進員数 (平成 28 年 5 月 10 日現在)

市町村名	会 員 数	市町村名	会 員 数
十 和 田 市	190 名	六 戸 町	33 名
三 沢 市	115 名	横 浜 町	20 名
野 辺 地 町	31 名	東 北 町	76 名
七 戸 町	32 名	六 ヶ 所 村	50 名
		計	547 名

#### (4) 市町村栄養改善業務支援事業

ア 市町村栄養改善業務支援事業連絡調整会議及び研修会

管内市町村栄養改善業務担当者のスキルアップを目的に会議と研修会を開催した。

	期 日	場 所	参加者数	内 容
会議	平成 28 年 10 月 19 日	上十三保健所	9 名	【協議】 ・母子保健事業の栄養指導について ・青森のおいしい健康応援店について ・災害時の栄養・食生活支援について
研修会				【情報提供】 「妊娠期の生活習慣・食生活状況と体重増加の関連について」 東北町保健衛生課 課長補佐 小沼 奈緒美 氏

イ 市町村への支援

市町村名	期日	研修会等
十和田市	平成 28 年 7 月 15 日	食生活改善推進員養成講座
野辺地町	平成 28 年 10 月 5 日	食生活改善推進員養成講座
七戸町	平成 28 年 6 月 20 日	新採用行政栄養士への支援
	平成 28 年 9 月 28 日	食生活改善推進員養成講座
	平成 28 年 10 月 18 日	
六戸町	平成 28 年 12 月 10 日	六戸町食生活改善推進員会 30 周年式典
横浜町	平成 28 年 7 月 29 日	食生活改善推進員養成講座
	平成 28 年 12 月 20 日	

#### (5) 青森のおいしい健康応援店認定事業

住民が外食等を利用する際に自分にあった適切なメニューを選択できるよう、肥満予防や食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加を踏まえた食事を提供している飲食店等を青森のおいしい健康応援店として認定した。

新規認定店舗数：3件（平成28年度末延べ6件）

#### (6) 「野菜料理を“+1品”」運動

住民が栄養バランスの良い適切な食習慣を身につけることができるよう、野菜の摂取量増加に向けて普及啓発した。

ア 健康教育等での普及啓発

研修会、講習会等において、1日に必要な野菜量や摂取量増加のポイント、野菜料理のレシピ等を掲載したチラシを配布し普及啓発した。

実施回数：7回

対象者：食生活改善推進員、給食施設従事者、飲食店関係者、JA職員等

参加者数：417名



イ 関係機関との連携

特定給食施設等栄養管理指導事業巡回指導において、給食における野菜提供量を確認し、1日350gを目標に献立を作成するように指導を行った。また、管内市町村行政栄養士との連絡調整会議では、各市町村の野菜料理+1品運動の活動状況を確認し、情報共有を行った。

(7) 国民及び県民健康・栄養調査等

国民及び県民の身体状況、栄養摂取量、生活習慣及び口腔の状況を明らかにし、健康増進対策等に必要の基礎資料を得ることを目的として、無作為抽出により国勢調査及び国民生活基礎調査の単位区から選定された地区を調査した。特に今年度は、健康日本21（第2次）及び健康あおもり21（第2次）の中間評価を行うことから、調査客体が例年より増加された。

調査地区	十和田市大字三本木	十和田市西十二番町
調査世帯	48世帯	54世帯
＜調査内容及び実施日＞		
①栄養摂取状況調査 食事内容(種類と量)の記入	平成28年11月22日	平成28年11月16日
②生活習慣調査 生活習慣に関するアンケートの記入	平成28年11月15日 ～28日	平成28年11月10日 ～21日
③身体状況調査・歯科疾患実態調査 調査世帯員の身体測定、口腔診察等	平成28年11月24日	平成28年11月17日

(8) 調理師業務従事者届

調理師法第5条の2第1項により、多人数に対して飲食物を調理して供与する施設又は営業で調理師法施行規則第4条に規定する施設において調理業務に従事している調理師から届出を受理し集計した。

調理業務に従事している調理師(平成28年12月31日現在)

(人)

寄宿舍	学校	病院	事業所	社会福祉施設	介護老人保健施設	矯正施設	飲食店営業	魚介類販売業	そうざい製造業	その他	計
4	65	55	2	165	24	0	29	0	0	36	380

## 5 精神保健福祉関係

### (1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者の市町村別・入院通院状況

(平成28年度)

医療区分 市町村名	総 数		入 院				通 院	その他
			小 計	措 入 置 院	医療保 護入院	その他		
十和田市	男	509	65		65		444	
	女	666	104	1	103		562	
	計	1,175	169	1	168		1006	
三沢市	男	260	37	2	35		223	
	女	346	44	1	43		302	
	計	606	81	3	78		525	
野辺地町	男	81	12		12		69	
	女	131	27		27		104	
	計	212	39		39		173	
七戸町	男	113	19		19		94	
	女	131	25		25		106	
	計	244	44		44		200	
六戸町	男	70	10		10		60	
	女	98	25		25		73	
	計	168	35		35		133	
横浜町	男	30	6		6		24	
	女	36	7		7		29	
	計	66	13		13		53	
東北町	男	124	24	1	23		100	
	女	152	26		26		126	
	計	276	50	1	49		226	
六ヶ所村	男	52	9		9		43	
	女	59	8		8		51	
	計	111	17		17		94	
県 外	男	1	1		1		0	
	女	1	1		1		0	
	計	2	2		2		0	
合 計	男	1,240	183	3	180		1,057	
	女	1,620	267	2	265		1,353	
	計	2,860	450	5	445		2,410	

イ 精神障害者申請等処理状況

(平成28年度)

申請等別			指定医に よる診察 件数	措置	非措置	非措置者の状況	
申請	通報	計				入院	非入院
2	7	9	6	5	1	0	1

ウ 管内精神病院入院状況 (平成29年3月末)

医療機関名	精神総病床数	年度末現在入院患者数	年度末現在措置患者数
十和田市立中央病院	50	30	0
十和田済誠会病院	250	200	1
高松病院	239	237	0
三沢聖心会病院	140	90	0
計	679	557	1

エ 精神科救急医療システム利用状況 (平成28年度)

十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	不明	計
51	13	3	12	7	1	9	1	3	4	104

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持状況

市町村別手帳所持者数 (平成29年3月末)

	手帳所持者 総数	手帳所持者等級別内訳		
		1級	2級	3級
十和田市	650	187	346	117
三沢市	298	135	126	37
野辺地町	119	45	55	19
七戸町	126	38	71	17
六戸町	82	30	46	6
横浜町	36	14	19	3
東北町	139	48	73	18
六ヶ所村	66	26	30	10
計	1,516	523	766	227

(3) 精神保健福祉相談状況

開設状況：年12回(第3水曜日)

嘱託医：十和田市立中央病院メンタルヘルス科診療部長、高松病院副院長

ア 相談件数 (平成28年度)

	総件数	再 掲		
		定期	随時	電話
実数	74	12	9	53
延数	150	12	16	122

## イ 目的別利用状況（延数）

（平成28年度）

相談内容	①受診・入院について	②通院・服薬について	③生活指導について	④経済的問題	⑤性格・行動上のこと	⑥患者への接し方について	⑦アルコールについて	⑧薬物について	⑨人間関係について	⑩施設入所について	⑪社会復帰について	⑫福祉サービスの利用について	⑬ひきこもり	⑭その他	計
定期	2	0	0	0	1	1	4	0	0	0	0	0	1	3	12
随時	2	1	5	0	1	1	1	0	0	0	0	0	4	1	16

## ウ 市町村別件数（延人数）

（平成28年度）

	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	計
定期	4	1	2	2	1	1	1	0	0	12
随時	12	1	0	1	0	0	1	0	1	16

## （4） 訪問指導状況

（平成28年度）

事業区分	保健師（相談員含む）			その他の職員			合計		
	一般	社会復帰	計	一般	社会復帰	計	一般	社会復帰	計
実人数	13	0	13	0	0	0	13	0	13
延人数	30	0	30	0	0	0	30	0	30

## （5） 普及啓発活動

ア 平成28年度は、「明日を生きる力アップ推進事業」をとおして心の健康づくりや自殺予防に関する知識の普及・啓発を行った。（詳細は、（8）を参照のこと）

イ 青森多重債務被害等をなくす会（青森りんごの会）との協働事業  
関係機関担当者会議 1回出席

ウ その他  
会議、研修会等で相談窓口一覧、心の健康づくりに関するパンフレット等を配布

## (6) 組織育成

精神障害者家族会、回復者クラブ、精神保健福祉ボランティアの育成支援を行った。

### ア 精神障害者家族会の状況

	家族会	活動内容等	作業所等運営 (名称)
家族会	とわだ家族会 (十和田市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会</li> <li>・学習会</li> <li>・会員間の交流</li> <li>・作業所等の運営</li> <li>・当事者の会への協力</li> <li>・管内合同の学習・交流会の実施</li> </ul>	
	さつき家族会 (三沢市)		
	山ざくらの会 (六戸町)		
	つつじ家族会 (東北町)		つつじ作業所
家族懇談会	野辺地町精神障害者家族懇談会		
	七戸町精神障害者家族懇談会 →平成26年度活動停止		
	横浜町精神障害者家族懇談会		

### イ 精神障害者家族会の活動及び支援状況

名称	回数	内容
つつじ家族会	1	つつじ作業所運営委員会に出席
上十三地区 精神障害者 家族学習交流会	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度事務局は、さつき家族会 (三沢市) が担当</li> <li>○実行委員会 1回出席 (2回開催)</li> <li>○家族学習交流会 1回出席</li> <li>日時：平成28年10月17日 10:00～15:00</li> <li>場所：三沢市総合社会福祉センター</li> <li>参加者：41名</li> <li>テーマ：「心でつながる仲間との和 ～お互いを大切にし、支え合える関係づくりを～」</li> <li>内容：①交流レクリエーション</li> <li>②情報交換会</li> <li>③講演「南部弁を楽しみましょう」</li> <li>○平成29年度は山ざくらの会 (六戸町) が中心となって交流会の企画・運営を行う。</li> </ul>

### ウ 回復者クラブの活動状況

名称	きざきのクラブ (三沢)
開催回数	年13回
会員数	5名

エ 精神保健福祉ボランティアの活動状況

名 称	会員数	活動内容
駒の会 (十和田市)	9名	○自主的な活動を継続している。 ・定例会の実施 ・「サロンおあしす」の実施 ・心のひろば「ルピナス」へ参加 ※平成10年4月に看護ボランティアとして組織化。 平成15年4月から精神保健福祉ボランティアとして登録。
さつき友の会 (三沢市)	12名	○自主的な活動を継続している。 ・「サロンひだまり」の実施 ・きざきのクラブ（回復者クラブ）の活動協力 ・青森県精神保健福祉ボランティア連絡協議会活動等 ※平成14年4月に組織化

オ 民間団体

名 称	内 容
特定非営利活動法人ワーク ハウスとわだ	十和田市や医療機関等関係機関と連携し、自主的な活動を行っている。

(7) 会議等及び研修

ア 精神保健福祉企画会議（所内）

期 日	開催内容	出席者
平成28年 5月18日	平成28年度精神保健福祉事業活動計画	保健総室長、次長、健康増進課長、健康増進課員
平成29年 3月3日	平成28年度精神保健福祉事業活動評価	

イ 関係者連絡会議

会議名	期 日	開催内容	出席者
上十三地域生活支援 広域調整会議	平成29年 1月30日	・「精神障害者の地域移行を実施して」をテーマに、2つの事例の紹介、事例をもとに課題、課題に対する支援にどのような支援ができるか事例検討、意見交換	30名出席 精神科病院 指定一般相談支援事業所 市町村 福祉こども総室

上十三地域精神科救急医療システム連絡調整委員会	平成 29 年 1 月 12 日	・精神科救急医療システムの運営状況について報告し、円滑な運営に向けて協議を行った。	29名出席 連絡調整委員会委員 (上十三医師会、救急医療施設、警察署、消防本部、地域家族会) 市町村担当者
上十三地域自殺総合対策ネットワーク会議(地域自殺対策官民連携協働会議)  地域特性を踏まえた地域対策力強化事業	平成 29 年 1 月 12 日	・自殺未遂者支援実施状況や連携に向けた課題等の意見をもとに協議し、他県の未遂者支援ネットワークを参考に、上十三圏域で可能な支援内容について検討した。	34名出席 精神科医療機関(5医療機関) 救急告示病院(5医療機関) 警察署 消防署 市町村

#### ウ 市町村に対する支援

- ・東北町こころの健康づくり(自殺予防)対策協議会へ1回出席
- ・十和田市生涯健康づくり推進協議会 こころの健康づくり部会へ1回出席
- ・十和田市セーフコミュニティ領域別部会 全体会へ2回、自殺予防部会へ2回出席

#### エ ケース会議等

措置入院患者等が退院後も地域で治療を継続できるよう精神科医療機関でのケア会議に出席、処遇困難事例についてケース会議を開催した。

会議名	場 所	回数	備 考
精神障害者ケース検討会	十和田市立中央病院	4	・本人、家族、関係者が退院後の治療の継続や生活支援について検討 ・関係者が処遇困難ケースの支援について検討 (心身喪失者等医療観察法に係わるケア会議を含む)
	十和田済誠会病院	2	
	野辺地警察署	1	
	青南病院	2	
	上十三保健所	1	

### (8) 明日を生きるカアアップ推進事業

#### ア 若者の生きるカアアップ応援事業

- ・高校生向け自殺予防プログラムの作成

○自殺予防プログラム検討会(3回)

開催日:平成28年9月7日(水)、10月14日(金)、12月16日(金)

開催場所:上十三保健所会議室

構成員:9名

アドバイザー1名、県教育庁学校教育課1名、上北教育事務所1名、管内高等学校教諭2名(養護教諭、生徒指導)、県立精神保健福祉センター2名(精神科医師、臨床心理士)、市町村保健師2名(三沢市、七戸町)

内容:健康教育指導案、スライド資料、相談窓口リーフレット、アンケートの検討

- ・自殺予防健康教育の実施(3回)

○七戸高等学校教職員

実施日：平成 29 年 1 月 11 日（水）

上記作成スライドによる実施。

○七戸高等学校 1 学年

実施日：平成 29 年 2 月 9 日（木）・10 日（金）

上記作成スライド、リーフレットによる実施。

イ 職域ゲートキーパー育成事業

・職域ゲートキーパー育成講座

保健所保健師が講師となり、管内の希望のあった事業所に対し、講座を 11 回、延べ 346 人に実施。メンタルヘルスやゲートキーパーとしての役割・心得について、講話した他、DVD 視聴や演習を交えて、実施した。

日時	場所	対象	人数	備考
H28. 6. 1	十和田合同庁舎	上北地域県民局・上北教育事務所職員	16	
H28. 7. 14	上北労働基準協会	十和田管工事協会 労働安全衛生大会出席者	66	
H28. 9. 28	十和田富士屋ホテル	十和田八甲ロータリークラブ会員	22	
H28. 9. 28	七戸町天間林保健センター	七戸町食生活改善推進員	18	
H28. 10. 4	十和田市民文化センター	三八上北農林管理署職員	39	在宅保健師 同行
H28. 12. 8	特定非営利活動法人 農楽郷 hibiki	特定非営利活動法人 農楽郷 hibiki 職員	10	
H28. 12. 12	奥入瀬合同庁舎	三沢公共職業安定所 十和田出張所職員	10	
H28. 12. 12	奥入瀬合同庁舎	三沢公共職業安定所 十和田出張所職員	9	
H29. 1. 18	東北町保健福祉センター	東北町内金融関係職員	35	
H29. 2. 27	十和田地域広域事務組合 消防本部	十和田地域広域事務組合 消防本部職員	71	
H29. 2. 28	十和田地域広域事務組合 消防本部	十和田地域広域事務組合 消防本部職員	50	



・ 職域ゲートキーパー育成講座 事業 PR

日時	場所	対象	人数
H28. 4. 28	上北労働基準協会	上十三地区労働災害防止連絡会参加者	28
H28. 10. 18	奥入瀬合同庁舎	十和田労働基準監督署主催 労務管理等説明会 参加者	13
H28. 10. 18	奥入瀬合同庁舎	〃	12
H28. 11. 15	奥入瀬合同庁舎	〃	11
H28. 11. 15	奥入瀬合同庁舎	〃	17
H28. 12. 12	奥入瀬合同庁舎	〃	20

・ 職域ゲートキーパー育成研修会

	1 回目	2 回目
期日	H28. 8. 30 (火) 13 : 30~15 : 30	H28. 9. 9 (金) 13:30~15:30
場所	JA 十和田おいらせ 3 階大会議室	野辺地町中央公民館 第 3 会議室
対象者	管内市町村の各課窓口担当者、社会福祉協議会職員、上北地域県民局職員	
人数	18 名 (台風のため、11 名キャンセル)	29 名
内容	<p>(1) 情報提供 テーマ「上十三圏域の自殺の現状について」 上十三保健所 健康増進課 技師 須藤美希</p> <p>(2) 研修 テーマ「よりよい生活支援と自殺予防を考える」 講師 青森大学 社会学部 社会学科 教授 船木 昭夫氏 内容 講義及び演習 (限られた時間の中で悩みに気づけるようなポイント等)</p>	

## 6 難病関係

### (1) 新たな難病の医療費助成制度

原因不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働大臣が定める疾病（指定難病）に対して、一定の認定基準を満たしている方を対象に、その治療に係る医療費の一部を助成し、医療費の負担軽減を図ることを目的とした制度である。

平成27年1月1日に「難病の患者に対する医療費等に関する法律（難病法）」が施行され、医療費助成の対象となる疾病が難病法施行前の56疾病から110疾病となり、更に平成27年7月1日からは306疾病に拡大された。

平成29年4月1日から新たに24疾病が追加され、これにより指定難病は合わせて330疾病となった。

#### ア 特定医療受給者の状況（市町村別）

（平成29年3月末）

疾患番号	疾患名	市町村								
		管内計	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
	合計	1355	497	264	133	126	83	44	147	61
2	筋萎縮性側索硬化症	14	2	2	3	2	2	0	3	0
5	進行性核上性麻痺	21	6	5	2	0	3	1	4	0
6	パーキンソン病	152	63	24	12	14	7	6	19	7
7	大脳皮質基底核変性症	5	0	3	1	1	0	0	0	0
8	ハンチントン病	2	0	1	0	1	0	0	0	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
11	重症筋無力症	28	12	8	1	1	3	0	1	2
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	31	7	9	4	3	4	1	3	0
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	10	6	1	3	0	0	0	0	0
17	多系統萎縮症	15	3	4	1	1	2	1	2	1
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	190	102	24	12	25	8	3	14	2
19	ライソゾーム病	1	0	0	1	0	0	0	0	0
21	ミトコンドリア病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
22	もやもや病	17	5	3	3	1	0	3	1	1
23	プリオン病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	1	0	0	0	0	0	1	0	0
28	全身性アミロイドーシス	2	1	0	0	0	0	0	1	0
34	神経線維腫症	4	1	0	0	1	0	0	1	1
35	天疱瘡	12	3	2	1	3	1	0	1	1
37	膿疱性乾癬（汎発型）	6	3	1	1	0	0	0	1	0
40	高安動脈炎	13	1	5	1	1	2	0	1	2
42	結節性多発動脈炎	2	0	0	0	0	0	0	1	1

疾患番号	疾患名	市町村								
		管内計	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
43	顕微鏡的多発血管炎	5	2	2	0	0	0	1	0	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	2	1	0	1	0	0	0	0	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	1	1	0	0	0	1	1	0
46	悪性関節リウマチ	8	3	0	2	1	1	1	0	0
47	バージャー病	12	2	4	2	0	1	0	1	2
49	全身性エリテマトーデス	69	22	13	7	5	8	4	1	9
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	11	2	2	1	4	0	0	2	0
51	全身性強皮症	17	3	4	3	3	1	1	2	0
52	混合性結合組織病	18	8	4	1	1	1	0	1	2
53	シェーグレン症候群	4	1	3	0	0	0	0	0	0
54	成人スチル病	1	0	1	0	0	0	0	0	0
56	ベーチェット病	22	7	3	6	0	2	0	4	0
57	特発性拡張型心筋症	17	9	3	0	0	0	0	2	3
58	肥大型心筋症	7	6	0	0	1	0	0	0	0
60	再生不良性貧血	16	4	1	1	5	1	2	2	0
61	自己免疫性溶血性貧血	1	0	0	1	0	0	0	0	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	0	0	0	0	1	0	0	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	38	13	14	1	3	2	0	5	0
65	原発性免疫不全症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0
66	IgA 腎症	12	3	8	0	0	0	0	1	0
67	多発性嚢胞腎	4	3	1	0	0	0	0	0	0
68	黄色靭帯骨化症	11	2	2	4	0	1	1	1	0
69	後縦靭帯骨化症	64	21	15	3	3	4	5	8	5
70	広範脊椎管狭窄症	6	1	1	0	1	0	0	2	1
71	特発性大腿骨頭壊死症	35	15	3	1	8	1	1	4	2
74	下垂体性PRL分泌亢進症	8	3	2	1	1	0	0	1	0
75	クッシング病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	8	4	0	2	0	1	0	1	0
78	下垂体前葉機能低下症	19	7	3	2	1	2	0	4	0
83	アジソン病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
84	サルコイドーシス	26	12	3	4	2	0	1	3	1
85	特発性間質性肺炎	12	2	3	2	0	0	2	1	2
86	肺動脈性肺高血圧症	5	1	1	3	0	0	0	0	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	0	0	0	0	1	0	1	0
90	網膜色素変性症	22	7	7	0	2	1	1	2	2
91	パッド・キアリ症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0

疾患 番号	疾患名	市町村								
		管内 計	十 和 田 市	三 沢 市	野 辺 地 町	七 戸 町	六 戸 町	横 浜 町	東 北 町	六 ヶ 所 村
93	原発性胆汁性肝硬変	26	9	6	7	2	1	0	1	0
95	自己免疫性肝炎	5	2	1	0	0	1	0	1	0
96	クローン病	59	15	13	5	9	5	3	4	5
97	潰瘍性大腸炎	205	75	35	20	16	15	4	32	8
107	全身型若年性特発性関節炎	2	2	0	0	0	0	0	0	0
113	筋ジストロフィー	3	0	3	0	0	0	0	0	0
117	脊髄空洞症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	2	1	1	0	0	0	0	0	0
158	結節性硬化症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱瘡を含む。）	3	0	2	0	0	0	0	1	0
171	ウィルソン病	1	0	0	0	0	0	0	1	0
218	アルポート症候群	1	0	0	0	0	0	0	0	1
222	一次性ネフローゼ症候群	16	3	3	4	3	0	0	3	0
224	紫斑病性腎炎	1	1	0	0	0	0	0	0	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1	0	0	0	0	0	0	1	0
227	オスラー病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
254	ポルフィリン症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
271	強直性脊椎炎	2	1	1	0	0	0	0	0	0
276	軟骨無形成症	1	0	0	1	0	0	0	0	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	1	0	0	0	1	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
300	IgG 4 関連疾患	1	1	0	0	0	0	0	0	0

イ 特定医療受給者の状況（年齢別）

（平成29年3月末）

疾患番号	疾患名	年齢階層	合計	0	10	20	30	40	50	60	70
				～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上
合計			1355	1	21	56	127	166	186	311	487
2	筋萎縮性側索硬化症		14	0	0	0	1	0	2	8	3
5	進行性核上性麻痺		21	0	0	0	0	0	2	2	17
6	パーキンソン病		152	0	0	0	0	1	7	27	117
7	大脳皮質基底核変性症		5	0	0	0	0	0	0	0	5
8	ハンチントン病		2	0	0	0	0	0	1	0	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病		1	0	0	0	0	0	0	1	0
11	重症筋無力症		28	0	1	0	2	3	4	10	8
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎		31	0	1	1	9	8	6	4	2
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー		10	0	0	0	0	3	0	3	4
17	多系統萎縮症		15	0	0	0	0	0	4	3	8
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）		190	0	0	2	0	3	11	56	118
19	ライソゾーム病		1	0	0	0	0	1	0	0	0
21	ミトコンドリア病		1	0	0	0	0	0	0	1	0
22	もやもや病		17	1	0	1	4	3	6	2	0
23	プリオン病		1	0	0	0	0	0	0	0	1
26	HTLV-1 関連脊髄症		1	0	0	0	1	0	0	0	0
28	全身性アミロイドーシス		2	0	0	0	0	0	1	1	0
34	神経線維腫症		4	0	0	0	1	2	1	0	0
35	天疱瘡		12	0	0	1	0	0	2	3	6
37	膿疱性乾癬（汎発型）		6	0	1	0	1	2	0	0	2
40	高安動脈炎		13	0	0	0	3	1	2	5	2
42	結節性多発動脈炎		2	0	0	0	0	2	0	0	0
43	顕微鏡的多発血管炎		5	0	0	0	1	0	1	1	2
44	多発血管炎性肉芽腫症		2	0	0	0	0	1	0	0	1
45	好酸球多発血管炎性肉芽腫症		4	0	0	0	0	1	1	2	0
46	悪性関節リウマチ		8	0	0	0	0	3	0	3	2
47	バージャー病		12	0	0	0	1	3	3	5	0
49	全身性エリテマトーデス		69	0	2	8	8	14	12	20	5
50	皮膚筋炎／多発性筋炎		11	0	0	0	1	0	1	5	4
51	全身性強皮症		17	0	0	0	0	3	2	6	6
52	混合性結合組織病		18	0	0	1	1	6	4	4	2
53	シェーグレン症候群		4	0	0	0	0	0	0	2	2
54	成人スチル病		1	0	0	0	0	0	1	0	0
56	ベーチェット病		22	0	2	0	3	4	5	4	4

疾患番号	疾患名	年齢階層	合計	0	10	20	30	40	50	60	70
				～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上
57	特発性拡張型心筋症		17	0	0	1	0	1	3	6	6
58	肥大型心筋症		7	0	0	1	0	0	3	2	1
60	再生不良性貧血		16	0	0	1	1	2	0	5	7
61	自己免疫性溶血性貧血		1	0	0	0	0	0	0	0	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症		1	0	0	0	0	0	0	1	0
63	特発性血小板減少性紫斑病		38	0	1	1	5	4	7	5	15
65	原発性免疫不全症候群		1	0	0	0	0	1	0	0	0
66	IgA 腎症		12	0	0	1	5	3	1	2	0
67	多発性嚢胞腎		4	0	0	0	1	0	1	2	0
68	黄色靱帯骨化症		11	0	0	0	0	1	3	2	5
69	後縦靱帯骨化症		64	0	0	0	2	4	10	19	29
70	広範脊椎管狭窄症		6	0	0	0	1	0	0	2	3
71	特発性大腿骨頭壊死症		35	0	0	1	1	12	7	9	5
74	下垂体性PRL分泌亢進症		8	0	0	1	4	2	1	0	0
75	クッシング病		1	0	0	1	0	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症		8	0	0	0	0	2	2	2	2
78	下垂体前葉機能低下症		19	0	1	1	2	3	3	2	7
83	アジソン病		1	0	0	0	0	0	0	0	1
84	サルコイドーシス		26	0	0	0	6	2	7	6	5
85	特発性間質性肺炎		12	0	0	0	0	0	0	5	7
86	肺動脈性肺高血圧症		5	0	0	1	0	1	1	0	2
88	慢性血栓栓性肺高血圧症		2	0	0	0	0	0	0	1	1
90	網膜色素変性症		22	0	0	0	2	1	3	5	11
91	バッド・キアリ症候群		1	0	0	1	0	0	0	0	0
93	原発性胆汁性肝硬変		26	0	0	0	0	0	2	12	12
95	自己免疫性肝炎		5	0	0	0	1	1	0	3	0
96	クローン病		59	0	6	11	15	12	10	3	2
97	潰瘍性大腸炎		205	0	5	14	36	43	36	37	34
107	全身型若年性特発性関節炎		2	0	0	1	1	0	0	0	0
113	筋ジストロフィー		3	0	0	0	2	0	1	0	0
117	脊髄空洞症		1	0	0	1	0	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症		2	0	0	0	0	0	0	1	1
158	結節性硬化症		1	0	0	1	0	0	0	0	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）		3	0	0	0	0	0	0	0	3
171	ウィルソン病		1	0	0	0	1	0	0	0	0
218	アルポート症候群		1	0	0	1	0	0	0	0	0

疾患番号	疾患名	年齢階層	合計	0	10	20	30	40	50	60	70
				～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上
222	一次性ネフローゼ症候群		16	0	0	1	2	6	3	1	3
224	紫斑病性腎炎		1	0	0	0	0	0	1	0	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）		1	0	0	0	0	0	0	0	1
227	オスラー病		1	0	0	0	0	0	0	0	1
254	ポルフィリン症		1	0	0	0	1	0	0	0	0
271	強直性脊椎炎		2	0	0	1	0	0	1	0	0
276	軟骨無形成症		1	0	0	0	0	0	1	0	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）		1	0	1	0	0	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症		1	0	0	0	1	0	0	0	0
300	IgG 4 関連疾患		1	0	0	0	0	1	0	0	0

## (2) 難病患者地域支援対策推進事業

目的：難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の不安や悩みに対し、専門医等による指導・助言などを行う医療相談を実施し、また、医療相談に参加できない要支援難病患者やその家族に対しては、保健師や看護師等の相談員による訪問相談を実施することにより、在宅医療の推進を図ることを目的とする。

### ア 医療相談等

パーキンソン病患者及び家族を対象に実施。

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 28 年 10 月 24 日 (月)	十和田市民文 化センター (十和田市)	1 講話及び実技指導 「日常生活の工夫と身体機能低下予防の ためのリハビリについて」 講師：十和田市立中央病院 リハビリテ ーション科 技師長 清水 涼子氏 2 情報提供 パーキンソン病友の会十和田ブロック 「たんぽぽの会」の紹介 3 質疑応答・情報交換 4 個別相談	41 名 (患者 16 名、家族 11 名、関係者 9 名、保健 所 5 名)

### イ 訪問相談（難病患者等訪問相談員による訪問相談）

訪問 相談 件数	疾 患 群 別 内 訳											
	神経・ 筋疾患	代謝系 疾患	皮膚・ 結合組 織疾患	免疫系 疾患	循環器 系疾患	血液系 疾患	骨・関 節系疾 患	内分泌 系疾患	呼吸器 系疾患	消化器 系疾患	腎・泌 尿器系 疾患	視覚系 疾患
(10) 20	(10) 20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

( ) 内は実数



ウ 難病対策地域協議会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 29 年 1 月 23 日 (月)	サン・ロイヤルとわだ	<p>1 話題提供 上十三保健所管内の難病対策の概要について 情報提供者：上十三保健所 郡川 愛</p> <p>「難病医療コーディネーターが伝えたい在宅療養の現状・課題」 青森県立中央病院 医療連携部主任看護師 難病医療コーディネーター 藤田香央里氏</p> <p>2 グループワーク テーマ「地域における難病患者の支援で必要なこと」</p>	67 名 (関係者 61 名、保健所 6 名)

(3) 保健師による訪問指導

訪問件数	疾 患 別 内 訳						
	多系統萎縮症	進行性核上性麻痺	筋萎縮性側索硬化症	脊髄小脳変性症	パーキンソン病	視神経脊髄炎	皮膚筋炎/多発性筋炎・原発性胆汁性肝硬変
	神経・筋系	神経・筋系	神経・筋系	神経・筋系	神経・筋系	神経・筋系	免疫系・消化器系
23 (17)	3 (2)	1 (1)	5 (3)	9 (6)	3 (3)	1 (1)	1 (1)

( ) 内は実数

(4) 重症難病患者在宅療養支援事業

ア 目 的

人工呼吸器を装着して在宅療養を行っている重症難病患者の介護を行う者が、疾病、冠婚葬祭や休息等の理由により当該患者を在宅において介護することができない場合に、円滑に適切な医療機関に一時入院できるよう体制整備するとともに、やむを得ない事情により一時入院が困難な患者に対しては看護人を派遣することにより、患者の安定した在宅療養の確保と患者及びその家族の生活の質の向上を図ることを目的とする。

イ 利用回数

一時入院の期間は同一年度で患者一人あたり 14 日を限度とする。

看護人の派遣の期間は、患者一人当たり月 1 回とし、1 回当たりの利用回数を 2 回まで分割することができる。

ウ 管内利用者

2 名 (看護人派遣)

1名（登録のみ）

## （５）健康相談状況

面接及び電話による随時健康相談を実施している。また、新規及び継続の医療受給者証交付申請や変更等の手続きや受給者証交付時に、個別面接相談及び電話による相談等にも対応している。

（平成 29 年 3 月末）

健康相談延件数	個別面接相談	電話相談
399 件	145 件	5 件

## （６）患者会の育成・自主活動支援

### ア 特定疾患患者会「みさわ・もみじの会」への支援

平成 9 年 3 月 27 日に患者会として発足し、平成 18 年度から、自立した患者会として活動を開始している。保健所は定例会での講話等で活動を支援している。また、特定疾患医療受給者証の新規交付者に対して、「みさわ・もみじの会」の紹介のリーフレットを配布し、会の活動紹介をしている。

日時：平成 28 年 6 月 15 日

場所：三沢市総合社会福祉センター

参加者：会員 6 名（患者 5 名、患者家族 1 名）

内容：災害時の備えと難病患者が利用できる福祉制度について

### イ パーキンソン友の会十和田ブロック「たんぽぽの会」への支援

平成 26 年度、医療相談での会の紹介を契機に、パーキンソン友の会十和田ブロック「たんぽぽの会」の設立に向けた準備や会運営等の相談に助言し、会則を作成し会が正式に発足した。新規交付者に会の連絡先等の紹介をして協力していたが、会員の都合により、平成 29 年 3 月末をもって活動を終了することになった。

## （７）関係機関との連携

町保健師と同行訪問しているケース 1 名について、今後の支援を検討するために退院前カンファレンスを実施した（町の呼びかけで、町介護福祉課、健康づくり課関係者が参集された。1 回実施）。今後も関係者が役割分担し、安否確認を継続することになった。

## （８）災害基本法に基づく「避難行動要支援者名簿」作成のための難病の特定医療受給者に関する個人情報の提供等について

依頼のあった 4 町村（七戸町、東北町、横浜町、六ヶ所村）に提供し、人工呼吸器を装着して在宅療養となる患者について、医療機関が主催した退院前カンファレンスに出席した。

## 7 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進関係

人口の高齢化、疾病構造の変化、ノーマライゼーションの意識の高まり等に伴い、住民のニーズが保健、医療、福祉を通じた総合的なものとなる中で、県民だれもが、生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスが利用者本位の視点で、総合的・一体的に提供されることが望まれる。

その実現のために、住民に最も身近な市町村単位で保健、医療、福祉包括ケアシステムを構築することが必要であり、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実に向けた取り組みに関して支援を行っている。

### (1) 保健・医療・福祉包括ケアシステムに係る現地懇談会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 28 年 8 月 26 日	十和田市民図書館 多目的研修室	十和田市の保健福祉の現状 情報提供 ・十和田市における健康都市宣言を通しての包括ケアの取組について ・十和田市における保健師活動「市民の主体的な健康づくりの推進～健康寿命延伸に向けた運動習慣定着の取組～」 ・懇談	35名 青森県知事、健康福祉部長、上北地域県民局長、十和田市長 他関係職員

### (2) 上十三地域橋渡し連携・パスネットワーク委員会

本委員会は、上十三地域の保健、医療、介護を必要とする状態の方が、住み慣れた地域で、最後まで自分らしい人生を送るために適切なケアやサービスが受けられるよう、退院調整や情報提供を行い、また、地域で療養されている方が医療機関に入院する場合にもスムーズに移行できるように、関係機関（医療機関と介護サービス事業者、行政など）の地域連携担当者が連携を推進し、調整を行うことを目的としている。平成 25 年度から十和田市立中央病院が事務局となり、委員会を開催し、当総室は委員として参加している。

平成 28 年度から、メディカルコート八戸西病院と六戸町地域包括支援センターが新たに委員として参加。

#### ア 委員 15 名

委員の所属は、十和田市立中央病院、十和田第一病院、公立野辺地病院、公立七戸病院、高松病院、六戸町国民健康保険病院、三沢市立三沢病院、メディカルコート八戸西病院、居宅介護支援事業所えがお、十和田市高齢介護課包括支援センター、十和田市健康増進課、七戸町地域包括支援センター、六戸町地域包括支援センター、上十三保健所

## イ 会議出席状況

回数	期 日	場 所	内 容
1	平成 28 年 6 月 16 日	十和田市立中央病院 3 階カンファレンス室	今後のネットワーク委員会の取組と年間開催計画 について協議。情報交換を実施。
2	平成 28 年 10 月 27 日	十和田市立中央病院 2 階会議室	連携パス運用状況の報告、困難事例の検討、情報交 換を実施。

### (3) 介護予防事業及び市町村支援 延べ 12 回

各市町村の地域ケア会議等へ委員として出席し支援した。

### (4) 上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議

「保健・医療・福祉包括ケアシステム」の構築・発展に向け、二次医療圏及び市町村の実情に応じた体制整備について協議検討を行うために設置している。平成 28 年度は上十三地域保健医療推進協議会と併催した。

期 日	場 所	内 容	出席者数
平成 29 年 2 月 23 日	富士屋グラン ドホール 2F 平安の間	(1) 情報提供 ・地域医療構想調整会議について (2) 報告事項 ・上十三圏域医療介護連携調整実証事業について ・「健康上十三 21 (第 2 次)」の概要と取組状況 について ・「健康上十三 21 (第 2 次)」の目標項目の達成 状況について (3) 協議事項 ・健康上十三 21 (第 2 次)」の推進に向けて	委員 17 名 (2 名欠席)

### (5) 上十三保健所管内認知症地域連携懇談会

二次医療圏単位で、認知症に係る地域連携の課題の抽出や問題解決に向けた検討を行い、早期発見・早期対応のための体制整備や医療・介護の連携を推進することを目的に開催した。

回数	期 日	場 所	内 容	出席者数
1	平成 28 年 7 月 26 日	上十三保健所 2 階会議室	(1) 情報提供 「各市町村における認知症施策の進捗状況について」 情報提供者：県高齢福祉保険課 (2) 意見交換「認知症施策の進め方について」 ①認知症初期集中支援推進事業について ②認知症ケアパスについて	市町村職員 等 計 20 名

2	平成 28 年 12 月 8 日	上十三保健所 2 階会議室	<p>(1) 情報提供 「認知症施策における市町村との連携及び管内認知症患者支援の課題について」 情報提供者：高松病院 副院長 海老名 恵氏 認知症疾患医療センター センター長 高松幸生氏</p> <p>(2) 意見交換「管内の認知症施策の推進に向けて」 ①管内市町村の認知症施策の実施状況について ②認知症初期集中支援推進事業について</p>	高松病院、 市町村職員 等 計 26 名
---	---------------------	------------------	--	----------------------------

## (6) 上十三圏域医療介護連携調整実証事業

入院している要介護（要支援）状態の方が医療機関を退院する際に、医療機関とケアマネジャーとの間で着実な引継を行うために、医療機関、居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所のケアマネジャー、市町村（地域包括支援センター）が協議を重ね、退院調整のためのルールを策定した。

会議名	期 日	場 所	内 容	出席者
第 1 回市町村 担当者会議	平成 28 年 7 月 6 日	十和田合 同庁舎	①事業内容と進め方についての共有 ②ケアマネアンケートの実施方法の検討	市町村職員等 計 31 名
病院協議	平成 28 年 9 月 20 日	富士屋グ ランドホ ール	①講演「上十三圏域における退院調整ルール 策定を目指して」（講師：弘前保健所 健康 増進課 主幹 山田淑子氏） ②情報提供「ケアマネアンケート結果及び圏 域での退院調整ルール策定に向けて」 ③グループワーク「退院調整に係る課題につ いて」	管内医療機関、 市町村職員等 計 49 名
第 1 回ケアマ ネ協議	平成 28 年 11 月 14 日	富士屋グ ランドホ ール	①事業説明「医療介護連携調整実証事業につ いて」 ②情報提供「ケアマネアンケート調査結果に ついて」 ③グループワーク「退院調整ルール（案）策 定に向けて」 ④確認事項「ケアマネジャー代表者選任（案） について」	居宅介護支援 事業所・小規模 多機能型居宅 介護事業所・地 域包括支援セ ンター等 計 113 名
第 2 回ケアマ ネ協議	平成 28 年 12 月 13 日	富士屋グ ランドホ ール	①報告「第 1 回ケアマネ協議グループワーク のまとめについて」 ②協議 ア 第 1 回協議事項の修正案について イ グループワーク及び全体協議（入退院 支援における連携の流れ等について） ③確認事項「ケアマネジャー代表者（案）に ついて」	居宅介護支援 事業所・小規模 多機能型居宅 介護事業所・地 域包括支援セ ンター等 計 100 名

第1回病院・ケアマネ協議	平成29年 1月26日	富士屋グランドホール	①報告「退院調整ルール策定に向けたこれまでの取組について」 ②説明「病院協議及びケアマネ協議のまとめについて」 ③協議「退院調整ルール（案）について」	管内医療機関・ケアマネジャー代表者等 計50名
第2回病院・ケアマネ協議	平成29年 2月16日	富士屋グランドホール	協議 ア 「退院調整ルール（案）」について イ 「上十三圏域における医療機関とケアマネジャーの退院調整ルールの手引き」構成（案）について	管内医療機関・ケアマネジャー代表者等 計48名
第2回市町村担当者会議	平成29年 3月9日	上十三保健所	説明及び意見交換 ア 「上十三圏域における医療機関とケアマネジャーの退院調整ルールの手引き（案）」について イ 今後の進め方について	市町村職員等 計17名

## 8 人材育成

### (1) 管理栄養士学生実習

大学名	実習期間	実習人数
青森県立保健大学 東北生活文化大学	平成 28 年 6 月 20 日～6 月 24 日 5 日間	3 人

### (2) 初任期・新任期保健師研修

「青森県保健師活動指針」に基づき、行政に働く保健師の役割を意識付けするとともに、地域保健活動を展開するための基本的な意識及び技術を習得することを目的として、初任期保健師研修（採用 1 年目）と、新任期保健師研修（採用 2～5 年目）に区分し研修を実施した。

#### ア 対象者

初任期保健師：十和田市 2 人、六戸町 1 人、上十三保健所 1 人

新任期保健師：三沢市 2 人、野辺地町 1 人、六戸町 1 人、横浜町 1 人、六ヶ所村 3 人、上十三保健所 4 人

#### イ 実施状況

初任期保健師研修（4 回）

回数	期 日	内 容	参加者数
1	平成 28 年 7 月 14 日	講話「最近の公衆衛生動向と保健師に期待すること」 「地域における保健師活動」 演習「担当業務の計画」「保健師活動の振り返り」 (新任期保健師研修合同)	4 人
2	平成 28 年 8 月 25 日	乳幼児の運動発達（はまなす医療療育センター）	4 人
3	平成 28 年 11 月 9 日	施設見学「管内精神障害者社会復帰施設」 演習「事業評価表の作成」	4 人
4	平成 29 年 2 月 2 日	演習発表「担当事業評価について」 事例検討 講話「先輩保健師からのメッセージ」 (新任期保健師研修合同)	4 人

新任期保健師研修（2 回）

回数	期 日	内 容	参加者数
1	平成 28 年 7 月 14 日	講話「最近の公衆衛生動向と保健師に期待すること」 「地域における保健師活動」 演習「担当業務の計画」「保健師活動の振り返り」 (初任期保健師研修合同)	11 人

2	平成 29 年 2 月 2 日	演習発表「担当事業評価について」 事例検討 講話「先輩保健師からのメッセージ」 (初任期保健師研修合同)	12人
---	--------------------	---	-----

### (3) 新任等保健師育成支援

保健所及び市町村の若手の保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援し、「地域全体を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることにより、地域保健活動を活性化することを目的として実施した。

#### 1) 実施市町村（青森県新任等保健師育成支援事業）

市町村名	対象		トレーナー保健師	実施日数 (評価会等含む)
十和田市	1年目	2人	澤谷 幸子氏	20日
六戸町	1年目	1人	畑山 政子氏	19日

#### 2) 保健所保健師等育成支援事業

対象		トレーナー保健師	実施日数 (評価会等含む)
1年目	1人	北山 つね子氏	20日

### (4) 保健師連絡会議

管内保健師の資質の向上と保健師間の情報の共有を図り、連携を強化して管内の保健活動を推進することを目的に開催した。

回数	期 日	内 容	参加者数
1	平成 28 年 7 月 26 日	① 講話「最近の地域保健を取り巻く状況」 上十三保健所長 傳法谷 純一 ② 情報交換「管内市町村重点活動」 ③ 情報提供	市町村 25 人 保健所 9 人



2	平成 28 年 12 月 2 日	① 講話「災害発生時の初期対応」 上十三保健所長 傳法谷 純一 ② 講話「災害発生時の保健活動体制と対応」 がん・生活習慣病対策課課長代理 三浦たみ子 ③ 演習「避難所 HUG で疑似体験してみよう」 ④ 情報交換	市町村 25 人 保健所 10 人 研修医 1 人
---	---------------------	--	---------------------------------